
VISUALIZE THE FUTURE



2016年3月期 第2四半期

決算説明会

株式会社デジタルメディアプロフェッショナル

2015年11月17日

本資料に記載された意見や予測などは資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。様々な要因の変化により実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

1

2016年3月期 第2四半期
ハイライト&決算説明

2

2016年3月期
上期の取り組みと今後の展開

3

2016年3月期
通期業績予想

4

参考資料

1

2016年3月期 第2四半期 ハイライト&決算説明

2

2016年3月期 上期の取り組みと今後の展開

3

2016年3月期 通期業績予想

4

参考資料

10月9日

次世代 L S I の製品化決定

(2D/3DグラフィックスLSI「VF2」)

- * 中期経営計画の柱である次世代LSIの開発が完了
当期第4四半期より生産開始

**前期より受注活動中の案件が第2四半期に取り込めず
計画売上・利益の一部が第3四半期以降へのずれ込み**

→第2四半期は当初計画から下方修正も通期売上計画に変更なし

**売上減による利益額の減少があるものの、製品化した
「VF2」の開発費発生が後ずれしているため、営業損失
減少**

**投資有価証券の売却益（特別利益）が発生
中間、通期計画ともに約1.2億円の特別利益を計上**



IPコアライセンス分野

一部案件に納期ずれが発生するが、既存顧客の次世代製品向けライセンス契約の獲得および顧客新製品の市場投入に伴うランニングロイヤリティ収入を計上



プロフェッショナルサービス分野

セキュリティ、医療機器等の案件を受注し、堅調に推移



SOC/モジュールビジネス分野

次世代LSI「VF2」の開発が完了し、製品化と販売開始を決定

2016年 3月期 第2四半期 決算概要 (P/L) -前年同期比-



売上高 ランニングロイヤリティの単価下落と新規ライセンスの不振
 営業利益 LSI開発費支出がないことによる改善
 経常利益 助成金収入の剥落による利益減少
 当期純利益 投資有価証券の売却による特別利益計上

(単位：百万円)

	2015年3月期 第2四半期 (実績)	2016年3月期 第2四半期 (実績)	前年同期比	
			(金額)	(増減率)
売上高	262	147	△115	△43.9%
営業損益	△200	△179	21	—
経常損益	△133	△176	△43	—
当期純損益	△133	△47	85	—

2016年 3月期 第2四半期 決算概要 (B/S) -前期比-

(単位：百万円)

	2015年 3月末	2015年 9月末	増減額
流動資産	2,012	1,863	△149
固定資産	113	200	86
資産合計	2,126	2,063	△62
流動負債	52	34	△18
固定負債	19	19	0
負債合計	72	53	△18
純資産合計	2,054	2,010	△44
負債・純資産合計	2,126	2,063	△62

- ・ 自己資本比率97.2%を維持

1

2016年3月期 第2四半期
ハイライト&決算説明

2

2016年3月期
上期の取り組みと今後の展開

3

2016年3月期
通期業績予想

4

参考資料

1. 半導体市場全般

グローバル

- 車載機器や産業機器向けの半導体需要が好調に推移
- 2015年8月の世界売上は27.7億ドル※1
(前年同月比-3.0%)
- 2015年の市場予測は前年比 **+3.4%**。
2016年以降も更なる成長が見込まれる※2

業界再編の
動きが加速

国内

- 円安の影響を受けた輸出採算の改善が見られるものの、国内メーカーの不振が依然として継続

(※1) 2015/10/5 The Semiconductor Industry Association (SIA)発表

(※2) 2015/6/2 WSTS日本協議会発表

2. ビジュアル・コンピューティング分野

- 車載系の市場が引き続き拡大。2020年の世界の車載用電子機器市場は約34兆円※と12年の1.7倍に拡大する見込み。車のIT化が進み、車載センサーやディスプレイの高機能化が進む。
- 画像処理やユーザーインターフェイスのニーズが多様化、ウェアラブルデバイスなどで低消費電力への要求がさらに高まる。

情報系

音声認識や電子ディスプレイなど

安全系

運動支援や自動駐車など



ボディー系

自動温度調整や電動シートなど

駆動系

衝突回避システム

スマートグラス



スマートウォッチ



◆ ウェアラブル端末で高機能化

* (出典) 電子情報技術産業協会 (JEITA)

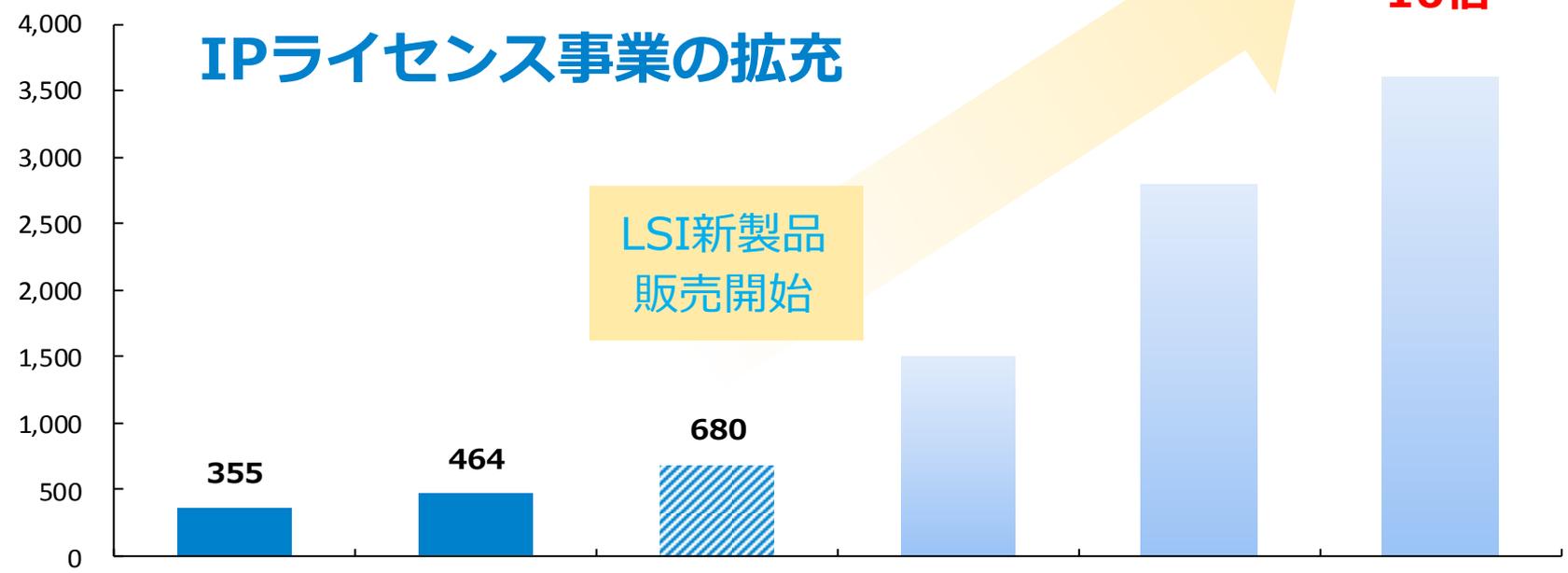
SoC開発、拡販により事業を構築・拡大

プロフェッショナルサービス立ち上げ

売上高
10倍

IPライセンス事業の拡充

(単位：百万円)



フェーズ1

フェーズ2



IPコアライセンス分野

IPライセンス事業の拡充

IPコアの販売拡大により、ライセンス収入の増加を見込む。



プロフェッショナルサービス分野

プロフェッショナルサービスの拡充

自動車関連・セキュリティ・医療分野等のサービスビジネスに注力し、拡大を図る。



SOC/モジュールビジネス分野

SoC開発、拡販により事業を構築・拡大

次世代LSIの開発が完了し、量産化へ。

戦略的提携の推進

アライアンスパートナーとの提携については、対象顧客へのアプローチを進めるとともに、車載機器、IoT関連分野への参入について協議を継続。

プロフェッショナルサービスの拡充

プロフェッショナルサービス

自動車関連



セキュリティ



医療機器



プロフェッショナルサービスへの旺盛な引き合いがあり、
自動車関連、セキュリティ、医療機器等の案件を複数受注

今後の成長が見込まれる新たな事業領域への
参入機会を獲得



SOC/モジュールビジネス分野

SoC開発、拡販により事業を構築・拡大

次世代 L S I 開発が順調に進捗。製品化が完了し量産化へ





SOC/モジュールビジネス分野



フェーズ2

成長するIoT分野へ拡大

ウェアラブル/自動車/ホーム/産業/家電などで高度な画像処理を実現する製品

フェーズ1

勝てる
「アミューズメント市場」で
SOCビジネス基盤確立

「次世代画像処理、画像認識向けプラットフォームの研究開発」が NEDO※¹のクリーンデバイス社会実装推進事業に採択

産業用ロボットや自動走行車への適用が期待される
人工知能（ディープラーニング※²処理を用いた次
世代画像処理）プラットフォームの開発を促進



当社の中長期的な事業展開の中で次の有力な
収益基盤として育成



※1 国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構

※2 機械学習の一種で、ニューラルネットワークを何層も重ねたものを用いてクラス分類や回帰を行うための手法。
画像認識や音声認識といった様々なデータとパターンの認識に応用されている。

1

2016年3月期 第2四半期
ハイライト&決算説明

2

2016年3月期
上期の取り組みと今後の展開

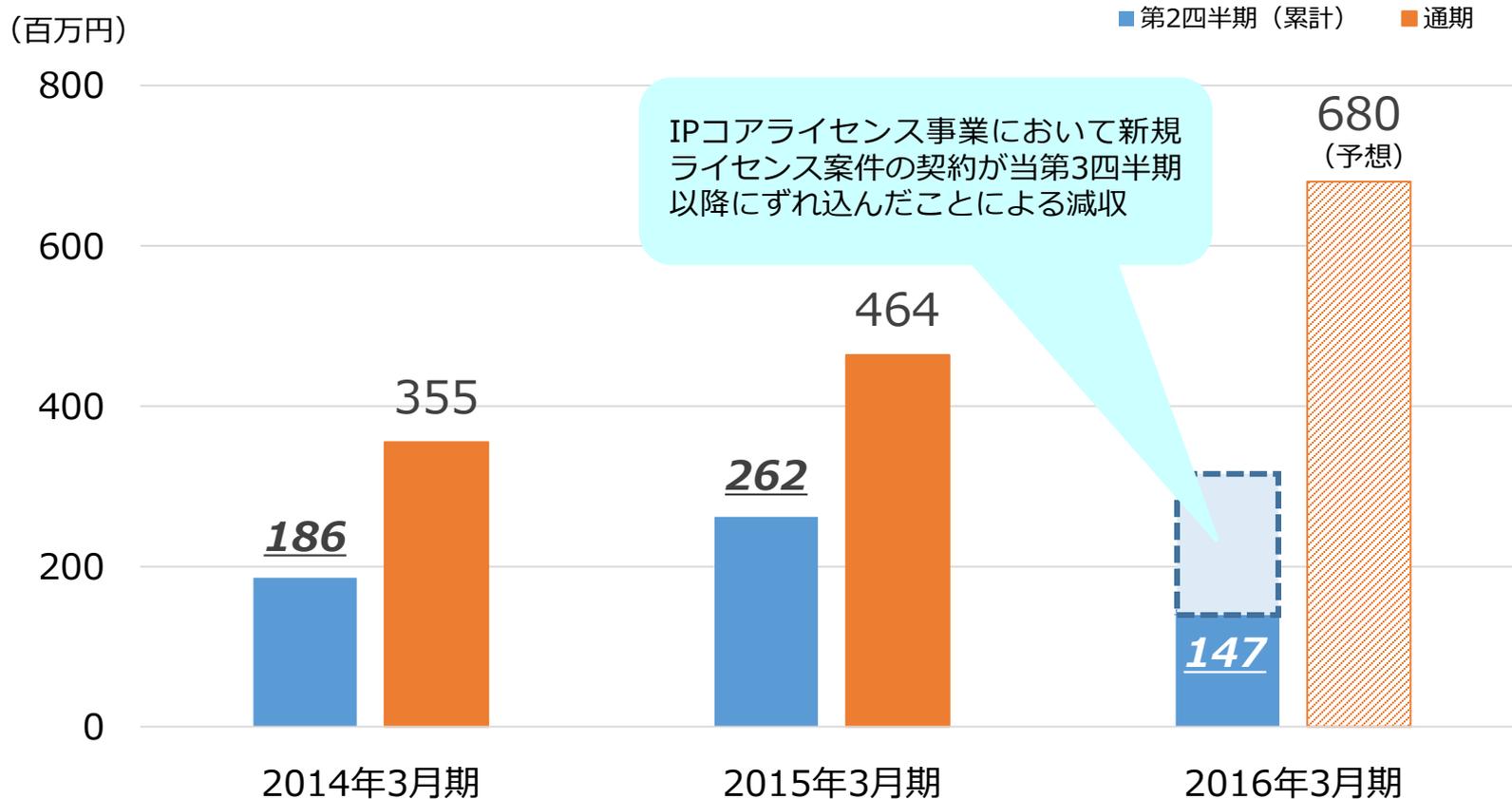
3

2016年3月期
通期業績予想

4

参考資料

通期売上高680百万円を目論む



(単位：百万円)

	2015年3月期 (実績)	2016年3月期 (予想)	前年同期比	
			(金額)	(増減率)
売上高	464	680	216	46.5%
営業損益	△462	△192	270	—
経常損益	△265	△190	75	—
当期純損益	△311	△61	250	—

1

2016年3月期 第2四半期
ハイライト&決算説明

2

2016年3月期
上期の取り組みと今後の展開

3

2016年3月期
通期業績予想

4

参考資料

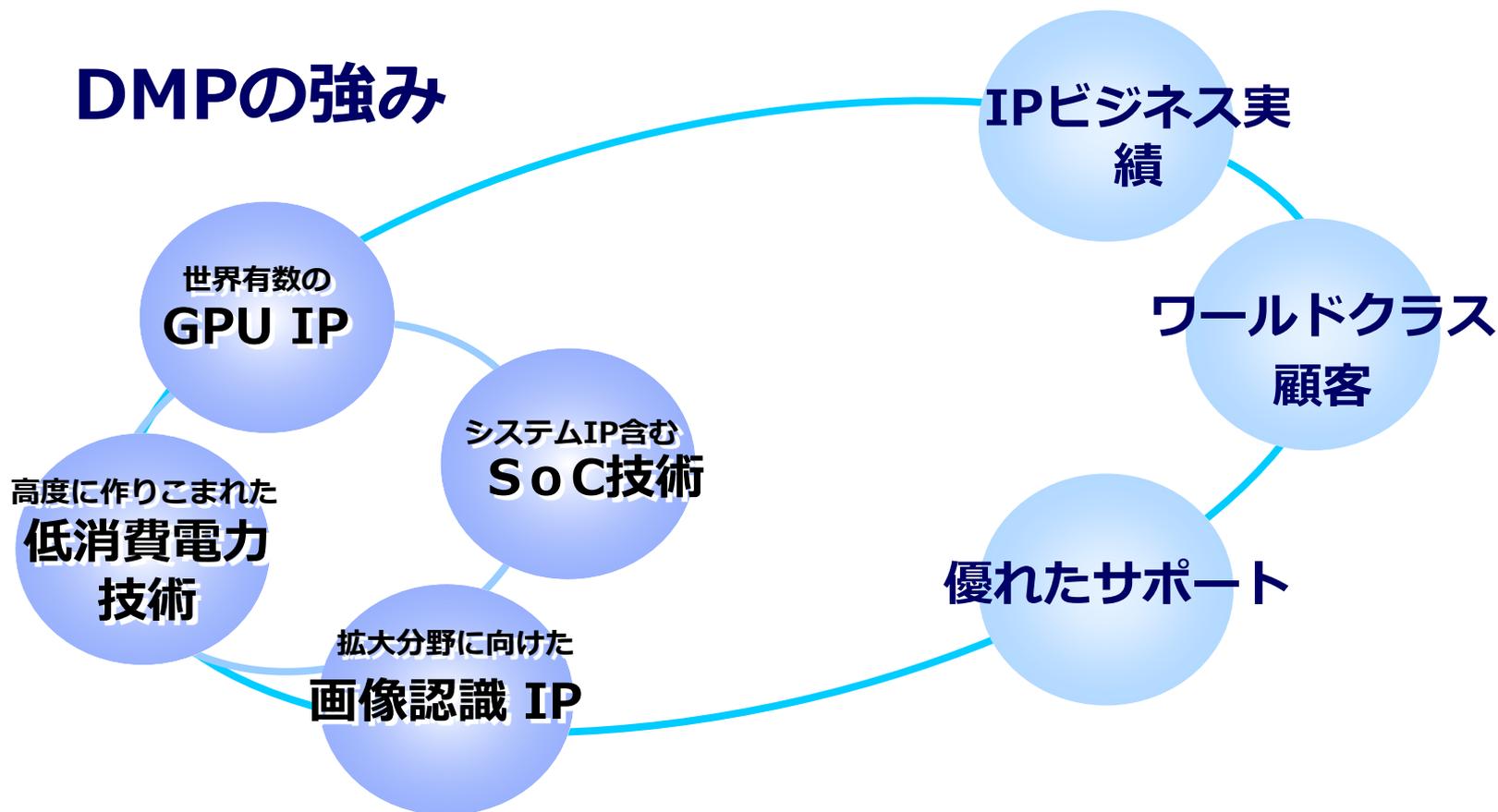
ビジュアル・コンピューティング*分野の ワンストップ・ソリューション・プロバイダーになる

*ビジュアル・コンピューティング：

グラフィックスないしは画像を介して行うコンピュータ処理総称

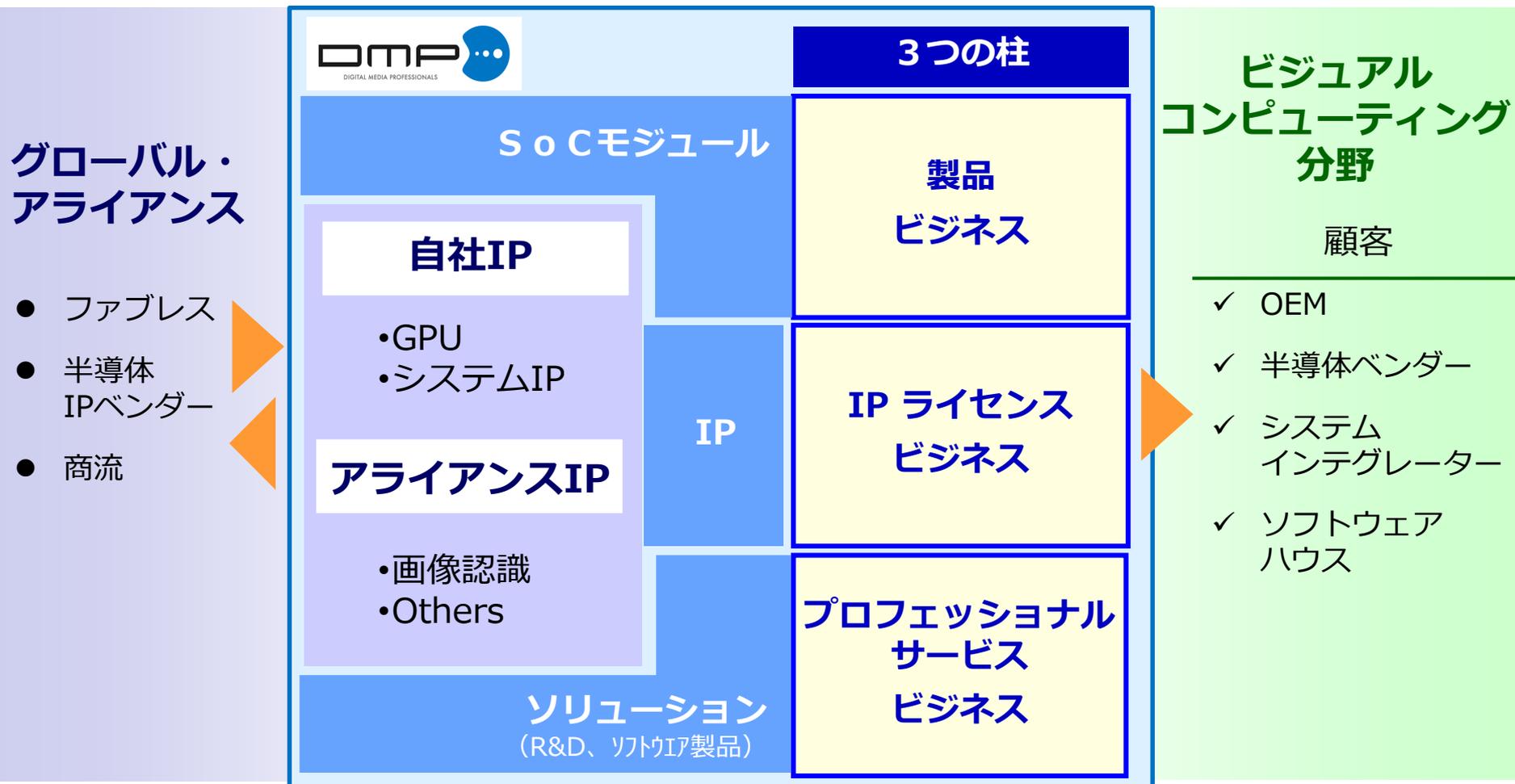
DMPの高い付加価値をもたらす半導体の中核技術とビジネス実績

DMPの強み



事業構造 経営資源と事業領域

独自のIPポートフォリオで、特徴のある製品・ライセンス・サービスを提供



強みをフル活用できる「3つの柱」で成長への基盤を構築

製品 ビジネス

自社IPを生かした競争力のあるSoCとソリューションの提供

- 強みを生かし「勝てる分野」でビジネス立ち上げ
- SoC/モジュール提供によるビジネス規模拡大

IP ライセンス ビジネス

成長分野で新規ビジネスを創出

- ビジュアルコンピューティング分野にフォーカス
- ポートフォリオ拡充、提案力強化

プロフェッショナル サービス ビジネス

高い技術力の提供とともに新たな分野開拓への要とする

- GPU/ビジョン技術(自社/他社) をベースとした高付加価値サービスの構築
- R & Dの強化

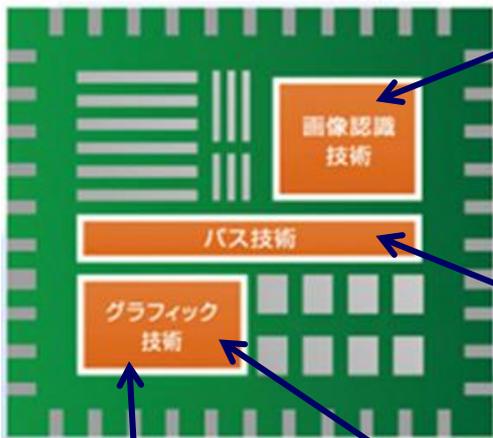
体制・ コーポレート

アライアンスにより経営資源を強化

(商流・半導体開発・IP外部導入のパートナー)

IPビジネスについて

低消費電力・高性能が実証された業界最先端のIPを提供



次世代画像認識プロセッサIP開発中

- Computer Vision用、高性能低消費電力プロセッサ
- 人検出、顔認識、ジェスチャー認識等アルゴリズムライブラリを整備

Loputoシステムシリーズ

SoCインターコネクティブIP

- 対応バスプロトコル：AMBA AXI, OCP, ACE I/Fサポート
- マルチレイヤー構成による低レイテンシ、QoSをサポート

DDRメモリコントローラIP

- DDR1/2/3/4, LPDDR1/2/3サポート
- SoCインターフェース：AXI, OCP/・DDR PHY インターフェース (DFI)

antシリーズ

UI Drowing Engine IPコア

- 0.5×0.5mm 世界最小コアサイズ
- 低消費電力、高い描画性能、歪み補正



SMAPHシリーズ

3DグラフィックスIPコア

- Khronos最新規格：OpenGL ES 3.0対応
- DMP独自拡張機能 MAESTRO



2DグラフィックスIPコア

- Khronos最新規格：OpenVG1.1対応
- 業界最小のIPコアサイズでフォント、地図、アイコン等のベクターデータのコンテンツを高速描画



成長するビジュアル・コンピューティング市場へフォーカス



ゲーム



画像認識



ユーザー
インターフェイス



自動車運転支援



コネクテッド・ホーム



モバイル・ビジョン



ウェアラブル・
コンピューティング



セキュリティ



ロボット/FA



医療

(従来)

I o T (*) ➡ 日本企業が強い分野で成長

モバイル／P C／T V

自動車／家電／産業／ホーム／医療／セキュリティー

数量

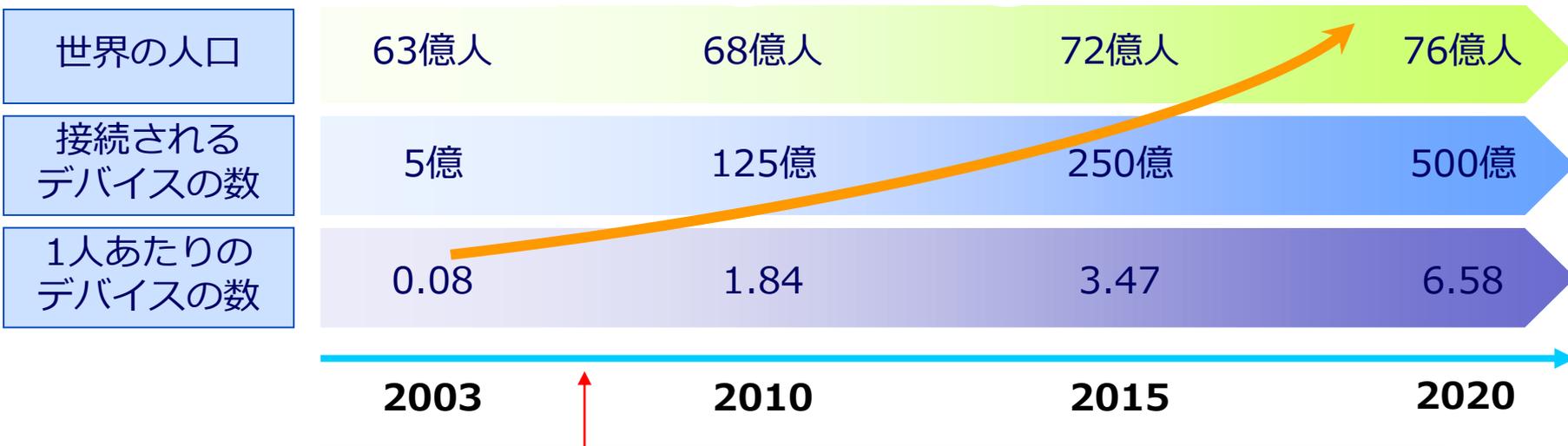


デバイスの種類

* I o T (Internet of Things) :

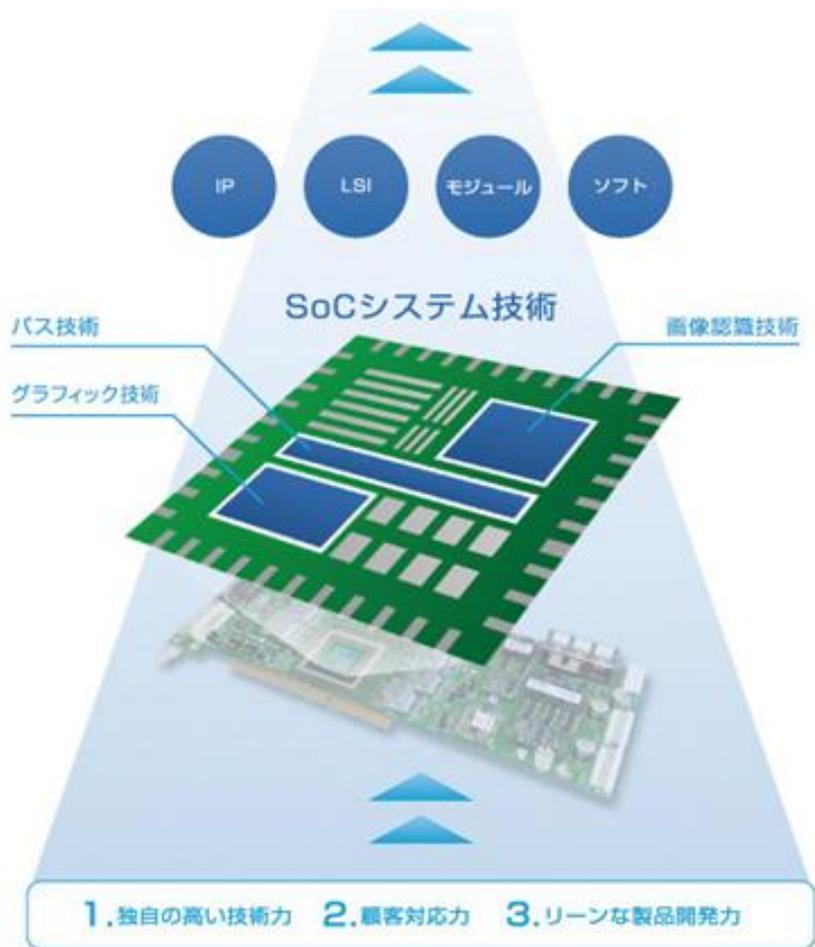
P C、スマホ・タブレット、ゲーム機といった情報通信機器にとどまらず、社会で利用される様々なモノに通信機能を持たせ、インターネットに接続したり、相互に通信することにより、自動認識、自動制御、遠隔計測などが行われること。

I o Tの到来 (出典 : Cisco IBSG.2011)



インターネットに接続されるデバイス数が、世界人口を超える

ビジュアル・コンピューティング分野



● 付加価値の高いIPコア

- ヘテロジニアスな処理環境を実現する高度なプロセッサIP (GPGPU/画像認識)
- 低消費電力で最高のシステム性能を実現するSystem IP
- IP性能を引き出す最適化されたソフトウェアツール群

● DMP IPによる差異化されたSoC/モジュール

● プロフェッショナルサービス

- アルゴリズム
- ベンチマーク、最適化
- アプリケーション開発
- 検証

強み、競争優位性を活かした今後の展望

フェーズ1

- SoCの開発
：「勝てる」分野での製品開発
- IPポートフォリオの拡充
：画像処理分野への進出
- プロフェッショナルサービス立ち上げ

フェーズ2

- ワンストップソリューションの提供
- IPポートフォリオの拡充
- IoTに関連したサービスビジネス

